2020年3月発行

大沢（おおぞう）ぐらしのテキストブック



CONTENTS もくじ

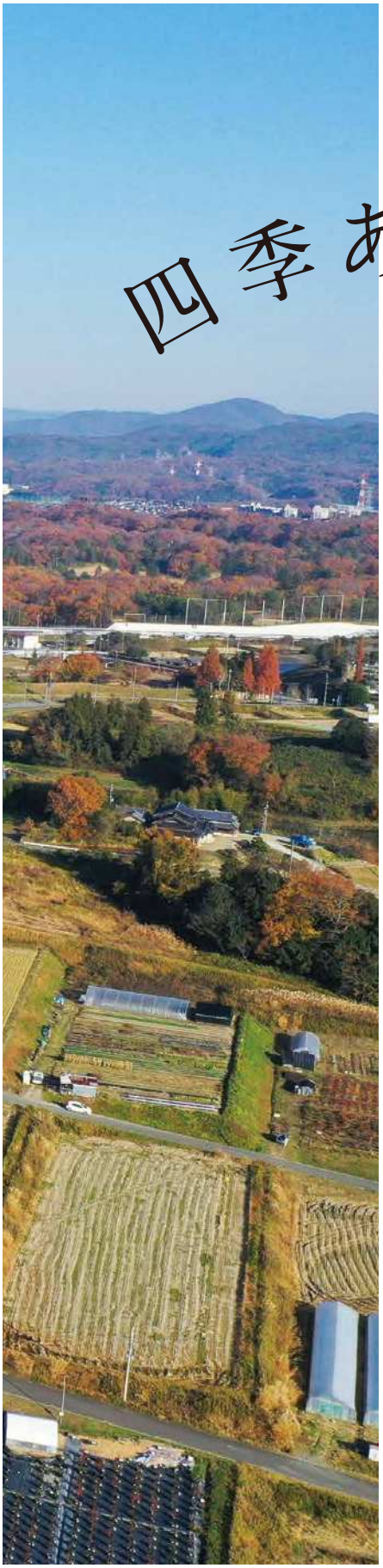
2-5 大沢町ってどんなとこ？
四季ある暮らしに誘われて

6-7 地元マインドを探ろう!
大沢をつくるひとびと

8-9 おおぞう暮らしの質問箱

10 移住者お宅訪問

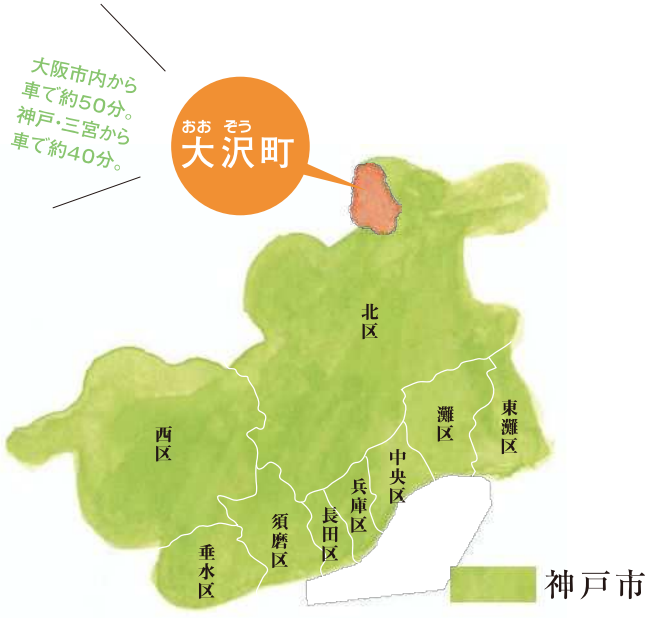
11 大沢といえばコレ!/大沢に暮らそう



大沢町って、どんなとこ？

四季ある暮らしに誘われて

神戸市の最北部、
緑あふれる農村風景が残る、大沢町。
旬の食材に恵まれ、季節の行事を守り継ぐなど、
日常のすべてのいとなみが
美しい四季の移ろいに包まれています。
そんな大沢町の日常を、
ほんの少しですが、ご案内します。



基本情報

※2019年12月現在

神戸市北区大沢町

人口：約970人
面積：13.5k㎡
都市計画法による区域区分：市街化調整区域（※1）

※1　新たに建築物を建てたり、増築することをできる限り抑える地域



田畑が広がる純農村ながら、近隣に大型商業施設があり、便利だ。











右: 鯉のぼりは、子どもがいる家の5月の風景。
代々受け継がれてきた、立派なものも多い。

左上: 夏と言えば盆踊り、奥様方が大活躍。

中左: 至る所にお社が。管理が行き届いており、美しい。

中右: 1月中旬には、書き初めを燃やす“とんど焼”。
天高く舞い上がるほど、字がうまくなると言われている。

左下: 秋には彼岸花が至る所に咲いている。

美しい四季のある暮らし

大沢(おおぞう)町の多くの世帯は、兼業農家。米はもちろんのこと、野菜などを栽培している人がたくさんいます。米を植える時期には五穀豊穣を願う祭りがあり、収穫の季節には感謝をささげる祭りがあります。

大沢町は神戸市街地から車で40分、大阪市内から50分と、非常に便利な立地でありながら、日々の暮らしの中に自然との関係性がしっかりと残っています。美しい四季の移り変わりの中で繰り返される、いわゆる「農村の暮らし」です。

あたり前のように、安心で安全

そんな農村の暮らしでは、自分の家でできた旬の食材が多く食卓に並びます。どこでどのように栽培されたのかがわかるので皆で安心して食卓を囲めます。

また、どんな人がどういう家族構成でどの家に住んでいて何をしているというような、ある程度の素性が知れているため、子どもたちを自由に外へ遊びに行かせることもできます。何か危険なことがあれば守ってくれるうえ、道徳から外れたことをしたら叱ってくれる人がいます。

食にしてもコミュニティにしても、あたり前のように安心で安全である暮らし。それは、実はとんでもなく豊かなことなのかもしれません。







左: 上大沢素盞雄尊社のだんじり。大沢町には、季節のイベントが盛りだくさんだ。
右上: 正月には、稲刈りのときに残しておいたワラでしめ縄をつくる。 右下: 春の訪れをつげる、つくし。日当りのいい土手で一斉に顔を出す。

心が通うと、もっと楽しい。

もちろん、どこでもそうであるように、大沢町で暮らすためには守らなければならない暗黙のルールのようなものがあります。季節のイベントが多いということは、住民自身が主体的にイベントを運営する必要があるということ。これは、なにかと用事が多いということでもあります。また、コミュニティが安全だということは、お互いの素性をある程度明かしているからでもあります。

農村は元来、助け合いの精神からなる共同体。食べ切れないものなどをおすそわけする文化など、多少の干渉を受け入れながら、協力して暮らすことこそが農村を維持する関係性なのです。つまり、大沢にあるのは、家族だけで暮らしが完結してしまうような、閉じた関係性ではなく、家の外にも開けた人間関係。人とのコミュニケーションが好きで、おすそわけのような心遣いをありがたいと自然に受け入れられる方にとっては、とても暮らしやすい場所でしょう。

そうやってコミュニケーションが生まれると、暮らしをよりよくするヒントが山のように積まれていることに気がつくと思います。これまで何世代も受け継がれてきた暮らし方の奥深さは、地域の暮らしを実践してこそ、人から人へと伝わっていくもの。頭で考えず、まずはぜひとも体で実感してみましょう。

「コミュニケーション」といっても、それほど積極性が必要なわけではありません。顔を合わせたときなどに「こんにちは」とあいさつを交わすだけで、きっと心が通じるようになります。

Colmun 大沢町のあま〜いもの

味覚狩りで あま〜い大沢を味わおう。

甘いものと言えば、ケーキ?おまんじゅう?いえ、大沢町では甘いものと言えば味覚狩り。冬から春はいちご狩り、夏はスイートコーン狩りが楽しめます。どちらも収穫したその場で料理せずに食べられて、甘いけど、何も味付けをしていないそのままの農作物で健康にも良し。友達や家族を誘って、自然の甘さを味わいに、来てみるのはいかがでしょうか?



最新情報は
神戸市観光園芸協会
ウェブサイト



地元マインドを探ろう!

大沢をつくるひとびと

インタビュー



大沢の風景をつくるのは いま、そこに生きる人たち。

農村の風景は、人の手が入ってこそのもの。
たとえば、大沢町に広がる田園風景の中を
ハイキングで歩く時、
歩きやすい山道があるのも、
腰を落ち着けられるお社があるのも、
帽子をかぶったお地蔵さんがいるのも、
わざわざ管理している人がいるから。
田んぼに水が張られたときや、
稲が実ってきたときなど、
写真に撮りたい風景があるのは、
季節に応じた農業をする人がいるから。
私たちを癒してくれる農村の姿は、
自然と密接な関係を保ちながら
暮らす人々によってつくられた
風景がほとんどなのだ。

何かについて、より深く知るには
その何かを生み出す方々に聞くのが一番。
そこで、大沢町で
豊かな自然と共に生きている
「農」の人を中心に話を聞いた。

住むかどうかは別にして、
大沢町が気になったら
まず、彼らに会いに行ってみてはどうだろう。

大沢一の眺望を守る、地道な活動

大沢一の眺望
みんな来てよ~!



山本茂さん

守るため、地元の人々やボランティアの方で、毎月第一土曜日に清掃などの活動をしている。「天気の良い日には、近くの保育園児がやってきて、自然と楽しくふれあっています。」春の桜、秋の紅葉など、季節の移ろいを感じ、山の中にこだまする野鳥のさえずりを聞きながらゆったり過ごすのも良い。
頂上から町を270度見渡せる風景は、「神戸らしい眺望景観10選」に選ばれている。

大沢の光山寺では大沢最高峰の素晴らしい眺望が望める。豊かな自然、そして最近では、駐車場、トイレ、上水道の設備を整え、山頂には霊験なる観世音菩薩立像がお祀りする観音堂があり、ハイキングコースとしても人気の観光スポットとなっている。
山本さんが代表を努める「光山寺の森の会」では、素晴らしい景観を





光山寺(こうさんじ)公園

神戸市北区大沢町日西原

地域のもので地域を作る

豊かな農地で
みんな頑張ろうや。



辻井稔さん

「大沢町を歩いてみると、四季折々に美しい野山が広がり、田畑では、野菜や果樹が生き生きと育ち、秋には稲穂が豊かに実る。この自然との営みを地域のみんなで守っていかなければ。」と意気込むのはおもしろ市場代表の辻井さん。おもしろ市場は、地元農家の方々が丹精込めて育てた野菜・果物のほか、手芸品やリサイクル品他、面白グッズを持ち寄る個性豊かな直売所だ。売り場作りの研究を重ねられ、地域農家の励みになる直売所となった。
辻井さんは他にも、ワイン葡萄生産法人の代表も務め、10ヘクタールの葡萄園を運営しながら、酒米や、野菜作りに励み、農業の発展こそ地域の繁栄につながると東奔西走している。
地域のもので地域に活力をもたす。地域らしさとはその過程で生まれてくるものなのだろう。辻井さんを始め、地域の方々の地道な努力の積み重ねに頭が下がる。



おもしろ市場

神戸市北区大沢町上大沢553
TEL/FAX 078-954-0434
営業 9:00~17:00(土日のみ)

大沢を支えるコミュニティデザイナー

人生の楽しみや充実感を見つけてな。



岩田悟夫さん

「お金は持っていたら盗まれまいかと心配だが、人と人との付き合いはお金にかえられへん財産で、持っていても不安やない」と話すのは、神付ふるさと村の岩田さん。

農園がオープンしたのは平成17年。野菜づくりだけでなく、植えたそばを自分たちで打ったりと数々のイベントを実施。農園の活動を、隣接した「神付・産土の森」での活動とも積極的に関連させ、木工やキノコ栽培、炭焼きなどのグループが生まれた。利用者同士、または利用者と地元住民とのコミュニケーションの場としても機能していることが「おおぞうコミュニティーファーム」というサブネームがつくゆえんである。

「野菜をつくるだけやなしに、人生の楽しみや充実感を見つけて欲しい」と、迎えてくれる岩田さんの心遣いは大変あたたかく、ありがたい。





神付ふるさと村

神戸市北区大沢町神付1348-2
TEL/FAX　078-954-0190
http://www.kdfm.jp/

のんびり土とふれあって

気軽に遊びに来てな。



岩形孝司さん

「近所の農家の方々と繋がって、気軽に農作業の相談などもでき、心和む時間が過ごせますよ」と話すのは、のびのび農園で3代目代表を務める岩形さん。旅行や交流が趣味だ。のびのび農園は市民農園で、交流好きの岩形さんらが「大沢を活気ある村に」と始めた。

大沢の見晴らしのいい高台にあり、南には六甲の山並み、西北には西国25番札所の清水寺や千ケ峰を望み、北東には三田のニュータウン・商業施設と360度のパノラマだ。野山のキノコ学習、バーベキューなどのイベントで農園の利用者同士や地域の人々と交流をしながら、土と触れあっている。喧騒を離れのびのびと過ごしてみるのはどうだろう。

管理棟前のケージには、孔雀や烏骨鶏が。





山に囲まれた、静かな環境

のびのび農園

神戸市北区大沢町日西原854
TEL（078）954-0831　FAX（078）954-0830
受付時間　9:00～17:00
http://www.kajigen.com/nobinobi.htm

大沢の開拓者マインドに学ぶ

本気で農業したい人は、全面的にバックアップしたるで。



藤本喜郎さん

大沢で農業を語るときに外せないのが、大沢ファーマーズマーケットの藤本さん。米以外の物をイチからつくり始めたのが約40年前。今や、苗、いちご、ぶどう、いちじく、とうもろこしなどを育てるまでになった。今でこそ、農業の六次産業化についてよく語られるようになったが、当時は生産者は生産だけという風潮で「つくっとるだけではいかん」と一念発起し、商売としての農業を考え始めた。

次は何をすべきかと目標を常に見定め、自分の頭で考え、自分の体で動いて来たからこそ、農業を語る言葉にリアリティがある。農業の未来について危惧しつつも、「本気でやるんやったら、サポートしたる」との声が大変心強い。





大沢ファーマーズマーケット

神戸市北区大沢町日西原1187
TEL/FAX　078-954-0087
営業　8:30～17:00（火曜定休）
http://www.eonet.ne.jp/~fujimoto-farm/

すっきり、解決！

おおぞう暮らしの質問箱

大沢町で暮らすにあたり、
考えられる疑問や不安について、
大沢町の皆さんに聞いてみました。

ここで紹介している事柄以外でも、お気軽にお問い合わせください。
お問い合わせは、本紙最終ページの大沢町地域事務局まで。

大沢町イメージキャラクター
バラタン



? 地域行事や共同作業はどんなものがありますか。



休日、みんなで力を合わせます。

大沢町では、大沢の里ふれあい運動会（学校園・町民合同）、盆踊り大会、芸術祭などにみんなで取り組んだり、町民グラウンドゴルフ大会やカラオケ大会もあります。

また、6つの地区ごとに神社があって、地区ごとに伝統的な神事（秋祭りなど）が行われており、獅子舞やだんじりなどそれぞれの地区の伝統文化にふれることができます。

共同作業については、春、秋のお彼岸に生活道路の側溝などの掃除(春の道つくり)や道路河川の草刈り（7月大沢クリーン作戦）などがあります。これらの活動はできるだけ参加してください。

「つきあい」を楽しみ、地域行事に参加することで近所の方々とコミュニケーションが生まれ、親しくなれるはずですよ。

? 大沢町の主な組織や会費などを教えてください。



地区によって、さまざまです。

大沢町には「神付（かんづけ）」「上大沢（かみおおぞう）」「中大沢（なかおおぞう）」「日西原（ひさいばら）」「簾（すだれ）」「市原（いちはら）」という6つの地区があります。それぞれの地区に自治会があり、町全体の連合組織として「大沢町自治連合会」があります。自治会費については、地区によって金額がちがいます。詳しくは、各地区の自治会長におたずねください。

その他、大沢婦人会や大沢松寿会（老人会）をはじめ、趣味の同好会などいろいろあります。それぞれが活発に活動していますので、参加してください。

また、地域防災組織である消防団や、自助・共助による防災活動、災害時の避難所の設置・管理・運営を行う防災福祉コミュニティの活動も活発です。

教育環境について、知りたいです。

地域に見守られた、小規模で特色ある教育。

幼稚園・小学校・中学校・児童館が同じ敷地内にあり、連携して教育を推進するとともに、地域の方々による日々の見守りや町民との合同運動会、合同文化祭などを通じた地域との連携も強く、小規模校の特色を活かした、きめ細かい教育を受けることができます。大沢町でも児童数が減少していましたが、平成29年度からは隣接する長尾小学校区からの通学も可能となり、児童生徒数も増加し、活気ある学校となっています。

また、大沢中学校では、ユネスコ(UNESCO)により神戸市立学校で2つ目のユネスコスクールの認定を受けて、持続可能な社会のための教育として「地域の歴史文化継承プロジェクト」と「地域の自然環境保全プロジェクト」に取り組んでいます。

生活の便は、どうですか。



車があれば、大変便利です。

公共交通機関である路線バスの本数は少ないものの、大阪市内から車で約50分、神戸三宮から約40分。高速道路インターに隣接し、東西南北各方面へ大変便利な地域です。

町内には、コンビニやスーパーはありませんが、車で10分以内のところにショッピングモール、コンビニ、各種量販店など買い物にも便利で、町内には、道の駅や、遊園地、ホテル等もあります。

病院への通院も車を利用して、済生会病院をはじめとした神戸電鉄岡場駅、道場駅近辺の病院や、三田市民病院をはじめとした三田市内の開業医をよく利用されています。

ただ、車が使えなくなった時に備えて、住民の足を確保できるよう、社会実験にも取り組んでいます。

大沢町に住むには どうすれば良いですか。



原則として、空き家利用することになります。

都市計画法上、大沢町は市街化調整区域に指定されており、原則として新たに家を建てることができません。そのため、既存の土地に建つものを借りるか、購入していただくのが一般的です。

ただし、空き家の状態は様々で、改修する場合に助成金がでる場合もありますが、改修内容や費用負担もケース・バイ・ケースです。実際に住んでいる地域の方のアドバイスや、専門業者の方の意見も聞きながら、進めていくのが現実的です。

農業はできますか。



取り組み方はさまざまです。

大沢町の人々は、ほとんど兼業農家で、稲作が中心です。しかし、稲作だけで生計をたてるのは非常に困難です。会社勤めをしながら、家庭菜園や、できる規模の野菜作りで直売所への出荷などは可能でしょう。

本格的に農業に取り組む方には、いちご、スィーツコーン、ちぢみほうれん草などの特産物化を進める取組みとともに、農業指導者の資格を持つ方による人材育成にも努めています。

Interview

移住者お宅訪問

大沢の住み心地はどうですか?

1 石田 篤さん

家族構成　夫婦＋こども２人



大阪・神戸への通勤に便利な、純農村の大沢町に魅力を感じ移住してきました。移住当初は小・中学校が小規模だったため、子どもの生活環境が一番気がかりでしたが、今、隣接する上津台よりの通学も可能になり児童数が増え安心しています。豊かな自然にふれ合い、季節の変化を日々感じながらのびのびと元気に過ごしています。

移住と同時に農地も取得したのですが、勤めをしながら初めての体験で少し戸惑いましたが、近隣の先輩方に気軽に相談できて心強いです。今は家族みんなで、野菜を植える準備をしています。

個人的には都会に勤めながら田舎ぐらしをする生活スタイルは、働くときに働き、心穏やかに過ごせる、ON、OFFの切り替えができることが気に入っています。

2 沖本 涼さん

家族構成　夫婦＋こども１人



広島で生まれ育ち、加西市の農業大学を卒業した後、農業の研修のため大沢町へ来ました。ただ、そのためには近くに住む家が必要でした。悩んでいたところ、家を空けるので使われませんかとの声掛けを頂き、お言葉に甘えることになりました。良い農地や良きアドバイザーにも恵まれ、四季折々の野菜作りで生計を立てながら日々充実した暮らしをしています。自然豊かなことはもちろん、人も暖かく、皆が快く挨拶できる関係で、家族が増えたように感じています。大沢町に来てから結婚し、子どもも生まれましたが、豊かな環境の中、元気に育ってくれています。

大沢町地域全体では、学校園町民合同運動会や秋祭り等のイベントも地域皆で取り組んでいて、感心しています。

3 武長 治さん

家族構成　夫婦



定年後、ゆったりと田舎ぐらしを楽しみたいと思い、大沢町に移住しました。

日頃は、家庭菜園での作業や、近隣のブドウ園の作業手伝い、そして、地域のゴルフ仲間と一緒に楽しく日々を過ごしています。また、家内は特技の手芸などを地域の方々に教えたり、地域のサークル活動やボランティア活動に参加して、大沢町になじんでいるようです。正月やお盆、連休などには、孫たちも来てくれて、にぎやかで幸せな時間でした。

バスの便は少ないものの、車さえあれば日々の生活には不自由ないし、地域の方々にも親切にして頂き、快適な田舎ぐらしを過ごしています。

Ozo Famous Selection



大沢といえばコレ！

大沢で有名なものを紹介します。

サーカス小屋の道の駅！？

大沢と言えばまず誰もが挙げるものが道の駅だ。2017年に神戸フルーツフラワーパーク内にオープンした道の駅の施設はサーカステントを思わせる白い3つの小屋が特徴的で、通称「FARM CIRCUS」と呼ばれて親しまれている。「地産地消を遊ぼう!」をコンセプトに、地元の農家が毎日届けてくれる採れたての野菜や果物の直売所とそれらを使った料理が食べられるフードコート、レストランがある他、季節ごとにさまざまなイベントが行われている。

大人が泥遊びに夢中！？

大沢で有名なイベントがある。1000人ほどが一堂に会し、田んぼの中で行うどろんこバレーだ。大のおとなも子どもに戻ったかのように、全身どろどろにしてはしゃいでいる。参加して、大沢を体で感じてみては。



道の駅 神戸フルーツフラワーパーク大沢
FARM CIRCUS
神戸市北区大沢町上大沢2150
TEL　078-954-1940
営業時間　9:00～17:00
定休日　なし

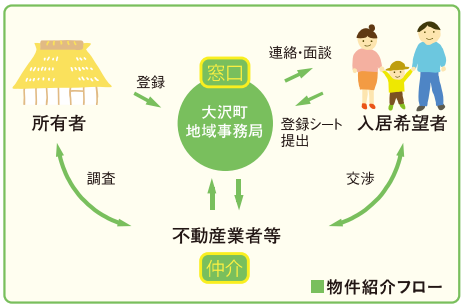
どろんこバレー実行委員会事務局
TEL (078) 954-0301（大沢出張所）

ようこそ、真心あふれるまちへ。

大沢に暮らそう！

定住促進プロジェクトを活用すれば、
あたたかい大沢暮らしも夢ではありません。
地域に根ざした豊かな人生をお望みのあなた、
勇気を出して一歩踏み出してみませんか？

※このプロジェクトは、すべての方への物件のご紹介を約束するものではありません。
物件数が限られていますので、ご了承ください。



定住促進プロジェクト

大沢町地域事務局では、町内の空き家実態調査をきっかけに、空き家を利用することで町の活性化をめざしています。登録された空き家情報をもとに、「大沢に住みたいと思う人」と大沢町とをつなぐしくみをつくり、運営しています。

物件紹介の流れ

① 登録
別紙の登録シートに必要事項を記入して事務局まで持参、または郵送、Eメール、ファックスで提出して下さい。

② 説明会
希望条件に近い物件があれば、説明会のご連絡をいたします。（見学ができる場合もあります。）

③ 見学・面談
希望条件に合う物件が見つかれば、見学を申し入れて状態をご確認ください。また自治会等との面談で、大沢暮らしへの思いをお聞かせください。

④ 紹介・契約
面談ののち、不動産業者等をご紹介し、契約に向けた手続きを行っていただきます。

⑤ 入居
契約が済んだらいよいよ、大沢暮らしがスタート。まずはご近所へ、ごあいさつに行ってみましょう。

大沢町お役立ちマップ



自動車

三宮⇔大沢	約40分
梅田⇔大沢	約50分
京都⇔大沢	約60分

バス

- JR「三田」駅から
  神姫バス 9,10,13系統
- 神戸電鉄「岡場」駅から
  神姫バス 13,69系統
- 神姫バス「三宮バスターミナル」から
  神姫バス 特急

大沢町地域事務局

〒651-1524
兵庫県神戸市北区大沢町中大沢1000−1（大沢出張所内）
電話　078-954-0301　　ファックス　078-950-7000

北神区役所 大沢出張所	078-954-0301
大沢地域福祉センター	078-954-0308
神戸大沢郵便局	078-954-0050
JA兵庫六甲大沢支店	078-954-0311

大沢の最新情報は
www.ozo.jp

移住希望者登録シート 【大沢ぐらしのテキストブック(別紙)】

※右の投稿フォームでの登録が難しい方は、以下に記入し、FAX かメールにて登録ください。

移住希望者登録フォーム

フリガナ 氏　名		記入 年月日	年　　月　　日
		紹介者	なし・あり(名前：　　)
住　所	〒	同居 予定者 内訳	
電　話			
ファックス			
Ｅメール			
大沢への 移住を 希望する 理由			
希望物件 内容	契約方法：購入・賃貸・どちらでも・その他（　　）		
	予算：		
	面積、間取り等：		
	付帯希望施設：農業倉庫・車庫・離れ・農地・山林・その他（　　）		
	農地希望面積（該当する場合）：		
入居希望 時期			
利用方法	住居･別荘･農業･オフィス･飲食店開業･小売店開業･サービス業で開業･その他(　　)		
その他			

送付先／お問い合わせ

大沢町地域事務局定住促進プロジェクト

〒651-1524
兵庫県神戸市北区大沢町中大沢 1000-1
神戸市北神区役所大沢出張所内
電話(078)954-0301　FAX(078)950-7000
メ ー ル　ozoshuchosho@city.kobe.lg.jp

個人情報の取り扱いについて

大沢町地域事務局は、皆様からお預かりした個人情報を厳正に取り扱うため、全役職員が遵守すべき行動基準としての個人情報保護方針を発行し、全事務局員がそれらを遵守するよう徹底しています。

1　お預かりした個人情報は、大沢町内の不動産仲介およびそれに伴う資料送付の目的に限り、利用いたします。
2　皆様の同意・承諾を得た場合と法令等の遵守の必要がある場合を除き、個人情報を第３者へ提供･開示等することは一切ございません。
3　個人情報の開示、訂正、利用停止等のご依頼があった場合には、合理的な範囲の中で速やかに対応いたします。